

防災訓練実施、阪神・淡路大震災から21年目を迎える！

1月15日6限、西消防署の協力を得て全校生徒による防災訓練が行われました。地震、津波に対応する避難として、教室から運動場、さらに運動場から校舎4階や体育館屋上へと移動。特に、教室から運動場の避難は過去最高の3分29秒でした。生徒一人一人が、この訓練の重要さを理解し、迅速に

行動してくれていました。西消防署の消防士の皆さんからも講評でお褒めの言葉を頂きました。最後に、校長先生からは、東日本大震災での「釜石の軌跡」についてお話ししました。岩手県釜石市の釜石東中学校では、防災教育に力を入れ、避難3原則を徹底していました。①想定にとらわれない。「ハザードマップを信じるな」あくまでシナリオに過ぎない、自分で判断して行動する ②状況下において最善を尽くす。③率先避難者になる。当時の大震災が発生した時に、いち早く避難行動を起こしたのは、運動場で部活動を行っていたサッカー部の生徒だったそうです。その姿を見て、他の中学生が、さらに小学生が、続いて地域住民が次々と高台へ避難し、多くの命を救うことになったと。地域で生活する中学生が、災害時には大きな力となります。地域貢献として自分なら何ができるかを考える機会にしてほしいですね。人を救えるのは人です。

1・2年生、白熱した百人一首大会開催！

2年生は1月19日(火)、1年生は1月26日(火)の5・6限を活用して「百人一首大会」を開催しました。この日のためにかなり練習を積んでいるクラスもありました。2年生では上の句一字を聴くだけで、「ハイ！」という声と同時に札が宙に飛ぶ光景も見られました。周りからどよめきが起きるほど。



優勝クラスは2年3組、準優勝は2組でした。個人賞として最も多く札を取った百人一首キングは2組の藤田くん(124枚)、クイーンも2組の吉田さんで(121枚)した。1年生も初めは緊張していましたが、時間が経つにつれて場の雰囲気にも慣れ、次々と札を取っている生徒もいました。自分の前にある札を取られて「あっー」という声が出ている場面もありましたね。優勝クラスは1年5組、準優勝は2組でした。1年生の百人一首キングは5組の竹馬くん(95枚)、クイーンは4組の島田さん(82枚)でした。ここで校長先生のベスト一句『天つ風 雲のかよひ路 吹きとぢよ ……』

第12回絵画・写真コンクール最優秀賞・特別賞受賞！

大阪市青少年指導員連絡協議会主催の第12回絵画・写真コンクールにおいて、絵画1,669点の応募数の中から、1年生の川根菜央さんが最優秀賞(大阪市青少年指導員連絡協議会会長賞)、2年生の岡崎美月さんが特別賞(大阪ラブリーライオンズクラブ賞)を受賞することになりました。表彰式は2月7日に中央区民センターで行われます。二人の作品については、地下鉄心斎橋駅構内にある「ギャラリーメトロ心斎橋」にて展示されました。本当におめでとうございます。